

2019年5月9日

各位

会社名：株式会社 J B イレブン
代表者名：代表取締役社長 新美 司
(コード番号：3066 名証第二部)
問合せ先： 取締役 田畠 英幸
電話番号：052-629-1100

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、2022年3月期を最終年度とする3か年の中期経営計画を策定しましたので、お知らせします。なお、当グループは、事業環境の変化に迅速に対応するため、一年毎に計画を見直し、ローリングしていくことを方針としています。

当社グループは、「中華・ラーメンの直営レストランチェーン展開企業」から脱皮し、「ニッポンの美味しさ・楽しさを提供する企業グループ」を目指して、引き続き、規模の拡大、収益力の向上、および財務体質の改善を図るため、内部体制の充実を伴った着実な成長を基本とし、以下の諸施策を推進します。

(1) 基本戦略

1. ホールディングス型経営の強化と周辺事業への事業領域拡大

規模拡大を重点課題と認識し、M&Aへの積極的な取り組みはもとより、ホールディングス型経営の推進と各子会社の自立強化により、業態イノベーションおよびスクラップアンドビルドの加速、そして郊外型立地を重視した着実な出店を進めます。

2. 収益力の向上と収益基盤の多角化

収益力の拡大を図るべく、一店舗当たりの平均売上高を重要な指標に捉えて、商品力および店舗運営力の強化を尚一層進めつつ、既存店舗への着実な投資実行とともに、業態ブランド力向上に繋がる広告宣伝も展開します。

同時に、社員が独立することによる経営委託制度を拡大するとともに、フランチャイズ展開も推進し、収益基盤の多角化も図ります。

3. 品質の向上と外部販売の強化

野菜や畜肉等、安全で高品質な食材生産者の開拓を一層強化するとともに、製造部門の強化により、安全安心および品質の向上、原価の低減を図ります。また、外部販売の拡大も推進します。

前各項目を強化推進する中で、社員が物心両面での充実を拡大できるよう、労働環境の更なる整備、そして社員分配の積極的拡大も図ります。

(2) 数値目標 (連結)

	2019年3月期実績	2020年3月期計画	2021年3月期計画	2022年3月期計画
売上高	7,272百万円	7,869百万円	8,455百万円	9,198百万円
経常利益	143百万円	123百万円	272百万円	456百万円
経常利益率	2.0%	1.6%	3.2%	5.0%

*当社グループは、1店舗当たりの平均月商 770 万円、売上高経常利益率 4%、ネットD
E レシオ 1.0 の早期達成を目指します。

なお、実際の業績は、当社グループを取り巻く諸環境の変化や、当社グループが目指す事
業領域の拡大等々、様々な要因により、本数値目標と異なる結果となる可能性があります。

以上